

# HR-1 プログラミング解説・操作方法

アクティくん



アクティくん 明るさ: ファイル ▾ 接続処理 転送 実行 その他 ▾

開始

終了

LED点灯 1秒

左 100 右 100  
E-9 0.1秒

確認音 1

停止 1秒

音センサ待ち

繰り返し3回

```
graph TD; Start([開始]) --> Wait[音センサ待ち]; Wait --> Check{明るさ > 50?}; Check -- YES --> LED1[LED点灯 1秒]; Check -- NO --> LED2[LED点灯 1秒]; LED1 --> End([終了]); LED2 --> End;
```

左右調整値(-10~10)

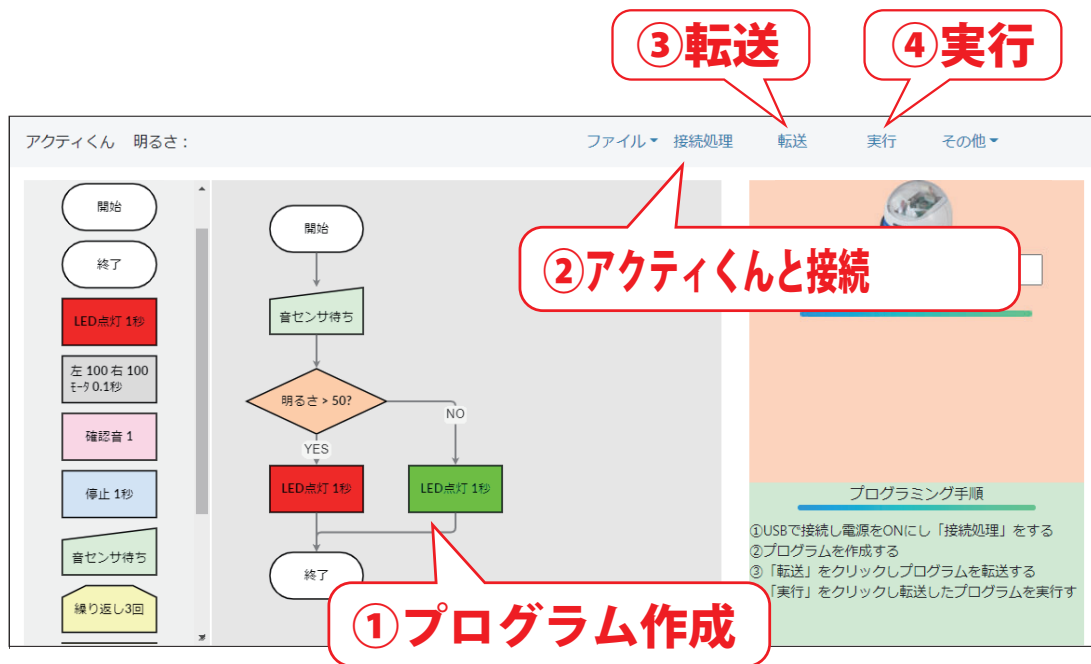
パラメータ表示

---

プログラミング手順

- ①USBで接続し電源をONにし「接続処理」をする
- ②プログラムを作成する
- ③「転送」をクリックしプログラムを転送する
- ④「実行」をクリックし転送したプログラムを実行する

# プログラミングの流れ



## ① プログラムを作成する

## ② アクティくんと接続する

手順 1 電源をOFFにしUSB ケーブルでパソコンへ接続します



手順 2 電源を ON にします



手順 3 アプリの「接続処理」をクリックしデバイスを選択し「接続」ボタンを押す



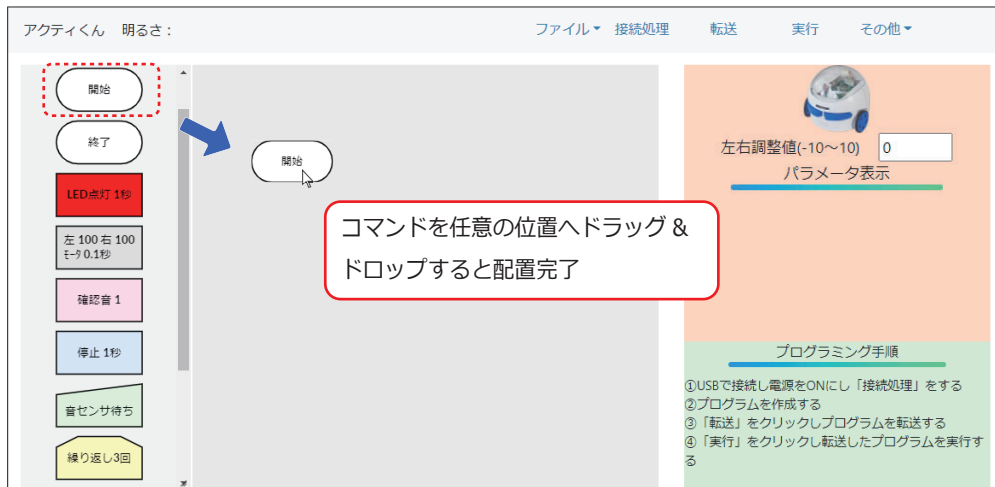
## ③ 接続を確認し「転送」をクリックしプログラムを転送する

## ④ 「実行」をクリックし転送したプログラムを実行する

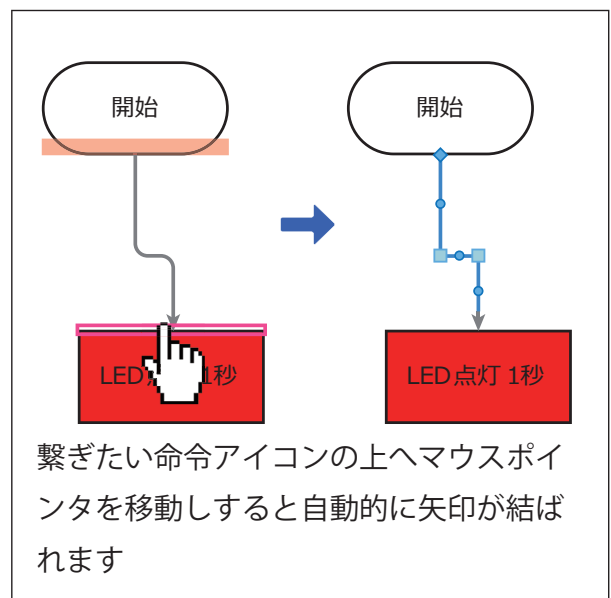
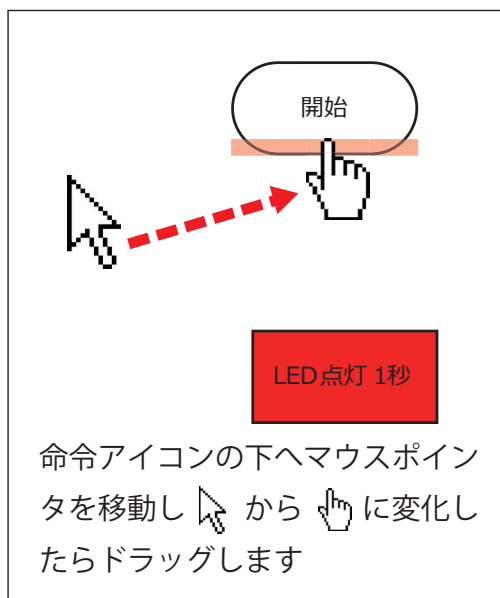
※モータ命令を含む場合は USB ケーブルを抜き「RUN」ボタンを押すと実行されます。

# プログラムの作成

## ●コマンドの配置



## ●コマンドの連結



## ●矢印の引き直し

矢印を引き直す場合は一度削除して再度連結して下さい



# アクティクんの接続

## ●パソコンと接続

手順1 電源をOFFにしするUSB ケーブルでパソコンへ接続します



手順2 電源を ONにします  
電源を ONにするとアクティクんのフルカラーLEDが白く点灯します



手順3 アプリの「接続処理」をクリックし、デバイスを選択し「接続」ボタンを押す



左図のようなデバイス一覧画面が表示されない場合

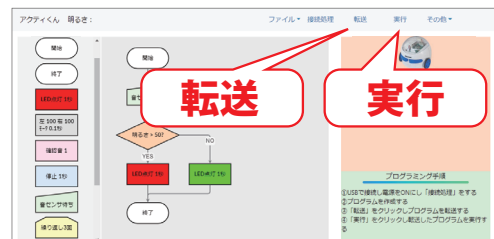
- ①アドレスバーに「chrome://flags/#enable-experimental-web-platform-features」と入力する
- ②「Experimental Web Platform features」を Enabled にする



アプリの使用中に転送ができない場合はパソコンとの接続を再度行ってから転送して下さい

## ●転送・実行

転送・・・「転送」ボタンを押すとアクティクンへデータが転送されます。  
転送中はフルカラー LED が緑で点灯します。



実行・・・「実行」ボタンを押すとアクティクンへ転送されたプログラムが実行されます。  
※モータ命令を含む場合は USB ケーブルを抜き「RUN」ボタンを押すと実行されます。



## その他機能について

### ●保存・読み込み

お使いのハードウェア本体へ保存・読み込みする場合と、外部ファイルへ保存・読み込みする方法の2通りあります。  
用途等使い分けしてご使用ください。

### ●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。

## 動作について

### ●アクティクんとパソコンを接続し電源を ON にした場合

白が点灯し、プログラム転送モードになります。(パソコンからのデータ転送が可能になります)  
実行した時は転送済みプログラムを **1度だけ実行** します。

### ●アクティクんとパソコンに接続しないで電源を ON にした場合

転送済みプログラムが **繰り返し実行** されます。

## その他

### ●電池の使用について

パソコンと接続した USB ケーブルから電源を取ることで、電池や AC アダプタを使わずに授業ができます。

授業毎に電池を外してください。

電池を入れた状態でスイッチをオンにすると LED が点灯していなくても本体が動作しているので、電池を消耗してしまいます。

自宅で使う場合、電池よりも経済的な AC アダプタ (DC-05) の使用をお勧めします。

久富雷機産業株式会社